

# ヘリサイン (緊急時対空表示)用塗料

救援ヘリの目印を  
視認性抜群の**蛍光色**で!

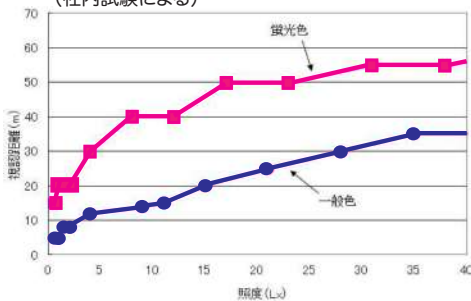
## ヘリサインとは？

災害時や緊急時に救助に向かったり、救援物資を搬送したりするヘリコプターが、**現在地または目的地を知るために使用する空に向けての目印**です。施設名称や識別番号を表示します。  
ポイント特定までの時間が大幅に短縮でき、**一刻を争う緊急時に大きな効果を発揮**します。

## ヘリサインに蛍光色が選ばれているワケ

蛍光色は紫外線に反応するという特性を持ち、**一般色に比べて2～3倍の視認性**があるため、遠くからでも判別しやすいです。  
夜明け、夕暮れ、曇天、雨天、スモッグ、煙、粉じん等の**視界状況の悪い時でも色を確認しやすく、ヘリコプターからの確認に最適**です。

◆蛍光色と一般色の照度変化による視認距離比較  
(社内試験による)



◆蛍光色ヘリサイン施工事例



## ヘリサイン設置場所

学校、消防署、警察署、病院、集合住宅、ショッピングセンター、サービスエリア、パーキングエリア、インターチェンジ、国土交通省河川事務所、排水機場、都道府県庁、市役所、駅、港湾施設、公園、体育館、福祉センター、公民館、図書館、コンサートホール、津波避難タワー、津波避難ビル、老人福祉施設、道の駅、アミューズメント施設、大規模駐車場 等

## 塗装可能素材

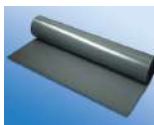
コンクリート



ウレタン防水塗膜



防水シート



折板屋根



アスファルト防水材



ヘリサイン用蛍光塗料  
ルミノヘリサイン



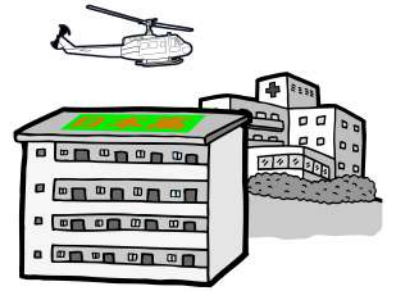
屋上には、伸縮する防水材など様々な素材が使われています。また直射日光に照らされたり、雨水がたまったりと非常に厳しい環境であるため、適切な材料を使用しないと剥がれる等の問題が起こる事があります。

シェアNo.1の弊社は**1,000件以上のヘリサイン、ヘリポート物件に対応してきた実績**があり、様々な素材に対応出来ます。

## ヘリサイン 文字設置規格

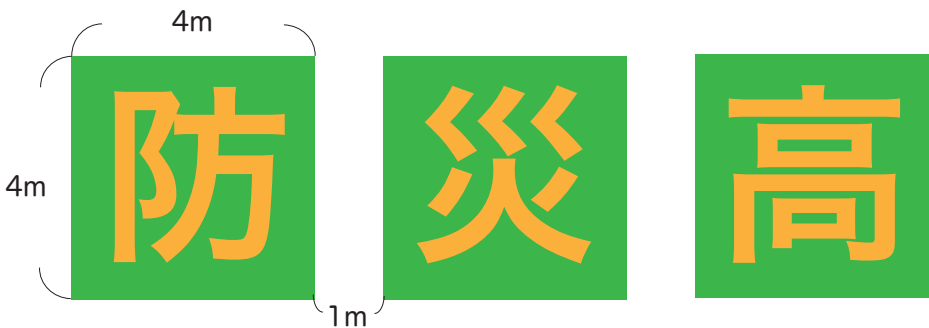
- ・文字の天の方向は、原則として北向きとし、北向きが困難な場合は、予め担当者と協議し決定すること。
- ・文字は、横書きとすること。
- ・文字部分の大きさは、縦4m、横4m程度とし、文字の間隔は1m程度とすること。
- ・文字の色は、蛍光オレンジ(JIS Z9103:2018)近似とすること。(旧JIS Z9103:2005では蛍光黄)
- ・文字の背景色は、蛍光グリーン(JIS Z9103:2018)近似とすること。(旧JIS Z9103:2005では蛍光緑)
- ・文字の線の幅は、原則として30cm程度とすること。
- ・文字のフォントはゴシック体とする。

※ あくまで参考の設置規格となります。



## ヘリサイン 表示例

「防」「災」「高」の順に3文字で施工した場合



## ヘリサイン用塗料 採用実績

- ・小学校、中学校、高等学校など (約400箇所)
- ・消防署・警察署・病院・住宅など (約150箇所)
- ・その他公共施設 (約150箇所)
- ・東京都、警視庁、東京消防庁、横須賀市、伊勢崎市消防局、志木市、越谷市、いすみ市、流山市、我孫子市、相模原市、厚木市、静岡県、焼津市、富士宮市、京都府、大阪府、枚方市、大阪市消防局、芦屋市、香芝市、徳島県、高知市、福岡県吉富町、五島市嵯峨島中、熊本県、沖縄県 等。

## ヘリポート (緊急離発着場)

主要都市では建築物の屋上に緊急離発着場等を設置することの義務化が進んでおります。東京都では45mを超える建築物は、全て緊急離発着場等の設置が義務付けられています。(東京消防庁 監修 予防事務審査・検査基準 第2章 消防同意事務審査要領 第10 緊急離発着場等 3 適用の範囲)

また、緊急離発着場等を塗装する色は、地の色はアクリルウレタン樹脂系蛍光塗料またはトラフィックペイントの緑色、ラインの色はアクリルウレタン樹脂系蛍光塗料またはトラフィックペイントの黄色の指示となっていますが、視認性の良さから蛍光塗料での塗装が多く採用されています。(東京消防庁 監修 予防事務審査・検査基準 第2章 消防同意事務審査要領 第10 緊急離発着場等 別表-1、3 設置基準)

